

えがお

特集 自然環境 ほか



阿見町町民活動センターは町民が行う自発的で営利を目的としない社会貢献のための市民活動を支援するとともに、町民との協働のまちづくりを推進するための施設です。

目次

ページ

実穀近隣公園ホタルの会、シニア生き生き活動顕彰	1
里山ワンダーランドの会、小池城址公園 里山の会、ヤーコン研究会	...2
レイクの森を守る会、うら谷津再生の会、お知らせ	3
神田池を保全する会、自然再生ネットワーク、事業提案説明会	4

実穀近隣公園ほたる野会

かつて実穀近隣周辺の水辺にホタルは翔んでいました。そのホタルを復活させようと、2013年に会を発足しました。実穀近隣公園の草刈り、廃棄物の除去、ホタルの人工飼育、鑑賞と1年を通して活動します。作業は桜が咲くころから始まり、落葉の片づけとともに終わります。そしてまた次の年へと続きます。2016年には筑見から公園まで続く「ホタルの小径」を開通させました。

活動場所：実穀近隣公園

代表 鈴木 実さん からのメッセージ

人工飼育したホタルを放ち、ホタルが飛翔するのを鑑賞します。鑑賞時期は7月～8月中旬までです。今年はホタル前線を町民活動センターHPでお伝えしていきます。

連絡先： ☎ 029-842-8469 （スズキ）

eメール suzu2015@xa3.so-net.ne.jp



ホタル飼育
キット

7月にホタル
翔ぶかな・・・



シニア生き生き活動顕彰 受賞おめでとうございます！

贈呈書

シニア向け初心者パソコン教室殿

地域貢献活動を顕彰いたします。
本顕彰を契機により一層積極的な地域活動を通じて、真に豊かな地域づくりに貢献されることを期待いたします。

2020年4月 日本生命財団

日本生命財団の「生き生きシニア活動顕彰」は地域の高齢者が行う地域貢献活動をたたえ、顕彰するものです。



【編集・発行】 阿見町町民活動センター
【住 所】 阿見町阿見2958 マイアミ・ショッピングセンター3階
【電話・FAX】 029-888-2051 【E-mail】 center@ami-cac.org
【ホームページ】 <https://ami-cac.org/>
【開 所 時 間】 午前10時～午後9時（月曜日および年末年始は休み）
【利用できる人】 原則、町内で市民活動を行う個人および団体
【利用可能内容】 無料：パソコン、インターネット閲覧、Wi-Fi利用、情報の提供・収集、団体の交流、活動の打ち合わせ・相談
有料：コピー、印刷



町民活動センターマスコット
キャラクター “あみエール”

阿見・里山ワンダーランドの会

私たちは市街地に近い若栗の山林と小川が数十年も荒れ放題になり「ゴミ捨て場」になっている状態を嘆き、自分たちの手で里山を守り残したいという思いで「里山ワンダーランド」を結成しました。この里山を通称ワッカクル（水が湧き出すところ）里山の森と言います。

代表 佐藤 征男さん からのメッセージ

市街地に隣接した「ワッカクル里山の森」をフィールドにしています。身近な小さな森林で自然を感じて森林浴を楽しみ、汗水流して快適に里山作業を行っています。普段からこの身近な里山が子ども達に親しまれ、楽しんでもらえることを願っています。また地域の人々がワッカクルの森を身近に感じることができる「里山プレイパーク」にしていきたいと思っています。自由にワッカクルの森に来て楽しんでください！

連絡先： ☎ 029-887-6249 （サトウ）



森を整備します。



自然がシジミを育てました。



会員募集中

阿見町小池城址公園 里山の会

平成11年に史跡と里山の復活を目的として、阿見町、いばらき森林クラブ、県の3者が森林整備協定を結びました。その9年後、阿見小池城址公園里山の会は発足しました。里山を整備するには年月が必要ですが、年間を通じて保全作業を続けることで植物・昆虫・動物などの生息環境を維持していくのが願いです。

活動場所：小池城址公園

今後の活動：7月19日, 8月10日, 9月21日, 10月11日, 11月15日, 12月26日, 1月24日, 2月14日, 3月21日

代表 青木 成夫さん からのメッセージ

下草刈り、炭焼き、樹木の間伐、チップ作り、遊歩道の整備など、里山で作業することが好きな方、どなたでも歓迎しますので、一度お越しください。

連絡先： ☎ 029-887-5178 （アオキ）

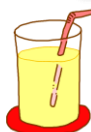
eメール aoki_shg@kvj.biglobe.ne.jp

小雨でもへっちゃら！
里山を整備する女性陣。



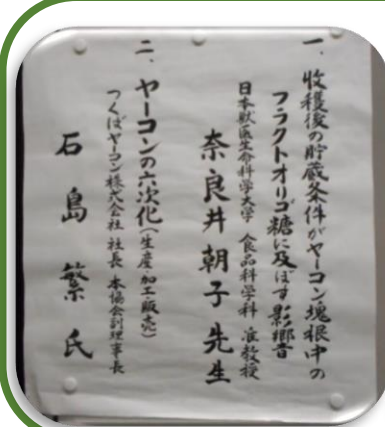
NPO法人日本ヤーコン協会主催 講演会

2020年2月16日に開催されました。



フラクトオリゴ糖たっぷり（低カロリー）のヤーコン。スムージーとしてオレンジやリンゴと一緒にミキサーして飲めば、お腹はすっきり。冷蔵庫で湿度を保つと長期保存できます。

ポリフェノールたっぷり。食感はナシのような不思議な野菜です。デンプンをほとんど含まないため、野生のイノシシはヤーコンを掘って食べないそうです。



レイクの森を守る会

レイクサイドタウン地区（大室）は阿見町の北側、稲敷台地の北端、霞ヶ浦湖畔にあります。私たちはその住宅地の南側の里山林をレイクの森と呼んでいます。平成27年、県の「身近なみどり整備推進事業」により、レイクの森内に生育する巨木の伐採が行われました。その結果、里山や隣接道路は明るくなり、環境が一変しました。この環境を維持、保全しようと地区住民有志が活動をしています。また、環境省主催の「みどり香るまちづくり」企画コンテストで入賞し、16種類200本の樹木が贈呈されました。その後、間伐材撤去、水路整備、湧き水循環装置の稼働、階段取り付け・補修、花壇の整備、植生調査、ホタルの飼育・放流などに取り組んでいます。

代表 阿部 明興さん からのメッセージ

レイクの森が整備されたので、上って霞ヶ浦を一望することができます。この景色は最高です。住民の皆さんとともに環境美化を継続し、お互いの絆を深めて生涯楽しく生活していくのが希望です。今年もホタルの幼虫を放流しました。7月には育ったホタルが光る様子を皆さんで観察するのが楽しみです。

連絡先：029-887-8381（アベ）

eメール: akiyoshiabe.ami@ozzio.jp



作業はもくもくと



作業の合間に歓談



5月、ホタルの放流。
今年は何匹翔ぶかな。



レイクサイドタウン
と霞ヶ浦を一望



うら谷津再生の会

うら谷津とは、耕作放棄された小さな谷にある田（谷津田）と、それを囲む山林のことをいいます。阿見町には自然豊かな利用されていない谷津がたくさんあります。これを町の宝とし、上長地区うら谷津の自然、農業、文化の再生、市民の交流を目的として、地元住民、町民、茨城大学学生サークルがボランティア活動に取り組んでいます。

活動場所 上長地区

代表 中島 紀一さん からのメッセージ

草刈り、田畑の耕作、農業の体験学習に取り組んでいます。文化行事としては野点（のだて）会、自然観察会、秋の花見会、味噌仕込み会を行いますので、興味のある方はぜひ連絡をください。

連絡先：☎ 090-4520-7730（ナカジマ）

eメール kiichi.nakajima.ag@vc.ibaraki.ac.jp



学生が井戸を掘りました。この水を利用します。



仕込んだ味噌で味噌汁を作りました。田植えのあとのひと時です。



お知らせ



阿見町環境審議会・阿見町生活環境課による「阿見町の自然ガイド2020」が刊行されました。
ご興味のある方は・・・
阿見町生活環境課（☎029-888-1111 内線251）までご連絡ください。



阿見町郷土文学研究会発行による「文芸阿見」が4月に刊行されました。

ご興味のある方は・・・

代表 田村までご連絡ください。
eメール: tamu0301@jcom.home.ne.jp

神田池を保全する会

神田池は、元禄時代（1690年代）に灌漑用水として湧水を貯めた『ため池』です。この池を保全して多様な在来生物を再生させるために2000年に「神田池を保全する会」を結成しました。2010年には『全国ため池百選』に選ばれ、名実ともに阿見の宝になりました。神田池の水量、水質の確保、動植物の保護、周辺環境の整備、阿見町の自然環境保全に関する学習・研究、啓発活動を行います。

代表 荻島 光明さん からのメッセージ

貴重な自然と景観を残すためには水生植物や周辺林の管理作業が必要です。また外来種を移入したり在来種を持ち帰ることで希少な動植物は絶滅することがあります。私たちは自然環境と共存して、自然環境を次世代につないでいきたいと思っています。

連絡先： ☎ 090-3404-1395 （オギシマ）

eメール info@amisanchokucenter.or.jp



ばったりとボニーに乗った子どもたちに出会いました。

希少種を見守りましょう。



阿見自然再生ネットワーク

地域の遊休農地などを問題にし、地域の農業の再生と農業や自然が豊かな地域づくり・まちづくりを目指しています。阿見町・茨城大学との地域連携事業と関係し、地域の農業再生に向けて講演会・青空市などを開催します。また食と農について学校給食や地産地消の推進を行っています。

阿見町の自然や農業に関係する団体、個人によるまちづくり勉強会を行っていますので、地産地消・自然再生による地域農林業の再生に興味のある方は連絡ください。

連絡先： ☎ 090-3404-1395 （オギシマ）

eメール info@amisanchokucenter.or.jp



稲刈りの体験です。思わず満面の笑みを浮かべます。



5月25日 令和2年度 市民活動支援補助金 事業提案説明会



6団体からの提案が採択されました

お問い合わせ：阿見町町民活動課（役場2階）
☎ 029-888-1111（内線272）

提案事業

- ◎「よさこいソーラン」による地域活性化事業（天翔如人）
- ◎ 障害児・者等に対する音楽療法（音楽療法ドレミの会）
- ◎ 掛馬地区 伝統芸能事業（阿見町掛馬芸能保存会）
- ◎ 阿見町で地域の交流を育むカフェを作る（NPO法人ハチドリ）
- ◎ 阿見町事業主等に対する手作りマスクの配布事業（認定NPO法人青少年の自立を支える会シオン）
- ◎ 障害児・者等の通所施設（NPO法人いろいろ）

編集後記（コーディネーター）

ホタルが舞う時期となりました。阿見町で見られるホタルはヘイケボタルです。ヘイケボタルは水流が少なく、多少水が汚れていても成育できるそうです。さて、自然繁殖したホタルが舞うのを今年は見る事ができるでしょうか。楽しみです。植物から哺乳動物まで多様な種（生物）がみられる自然豊かな阿見町。カワセミやオオタカ、ホンダヌキやニホンノウサギも見かけます。そんな阿見の自然や里山を保全して、次世代に残したいですね！（お）

